

地域動物研究会の活動紹介

本研究会に案内のあった各地域の実験動物研究会の活動を順不同で紹介します。詳細な内容の問い合わせは各研究会の事務局までお願い致します。

関西実験動物研究会

事務局：京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設内

TEL:075-753-4489, FAX:075-753-4409

E-Mail: kansaijim@anim.med.kyoto-u.ac.jp

URL:http://www.anim.med.kyoto-u.ac.jp

◎第72回関西実験動物研究会(平成13年12月14日、京都市勧業館「みやこめっせ」)

会員による研究発表 15題

- 1.イベルメクチン噴霧によるネズミ盲腸蠕虫駆除多根井昌孝ら(㈱ケー・エー・シー)
- 2.コンベンショナルマウスから分離した *Pasteurella pneumotropica* の性状-パイオタイプ選別用プライマーを用いて- 鍵山莊一郎ら(大阪大・医・動物実験施設)
- 3.ウシ *Leu*main の cDNA クローニングと免疫組織化学的研究およびそのタンパク質分解 山根拓也ら(滋賀医大、龍谷大・理工、京都女子大)
- 4.ラット腎臓由来の Tripeptidyl Peptidase I の構造と機能に関する研究 杜 培革ら(滋賀医大)
- 5.カニクイザルを用いたパラフィン切片における免疫染色の試み 福田綾子ら(㈱新日本科学・安全性研)
- 6.雌性 B6C3F1 マウスにおける骨線維化病変 fibro-osseous lesion: 卵巣摘出動物との比較 飯田晶敏ら(日本エス・エル・シー(株))
- 7.WHHL ウサギ動脈硬化血管の in vivo における反応性 山田悟士ら(神戸大・医)
- 8.微小重力がサイトカイン産生に与える影響 喜多正和ら(京都府医大、国立感染研)
- 9.Introduction of Experimental Animal Facility in Korea Byeong-Cheol Kang, et al. (Clinical Research Institute, Seoul National University Hospital, Korea)
- 10.マウス遺伝子のシーケンシングホモロジーより得られた43個のラット遺伝子の染色体マッピング 中根良文ら(京都市大・医・動物実験施設)
- 11.強直性および欠神様発作を示すあらたな自然発症てんかんラット WER 系統(Wakayama Epilepsy Rat)について 坪田裕司ら(和歌山県立医大)
- 12.dmy ラットの病態解析-ミエリン形成およ

びオリゴデンドログリアの動態- 徳田智子ら 大阪府大院・獣医病理、京大院・医・動物実験施設)

- 13.qc ラットの中枢神経発生 松井多美子ら (大阪府立大院・京大院・医、パスツール研究所)
- 14.市販マウス胚凍結保存液/融解液キットを用いたマウス胚凍結保存の成績について 吉田悦子ら(国立精神・神経センター研究所)
- 15.大阪産野生マウス由来近交系 MSKR 系統の発生工学的基礎特性 和田あづみら(名古屋大院、広島大・生物生産)

特別講演-1

マウスの歴史と遺伝子の歴史

森脇和郎(理研筑波研究所バイオリソースセンター)

特別講演-2

Wild mice as an alternative source of genetic polymorphism Jean-Louis Guenet (Institut Pasteur a Paris)

◎第19回総会及び第73回関西実験動物研究会(平成14年3月8日、京大会館)

「動物をもちいた発がん研究の最前線」

- 1.実験動物をもちいたヒト発がん研究-遺伝子機能を共通言語として 牛島俊和(国立がんセンター発がん研究部)
- 2.環境発がん物質には閾値が存在するか 福島昭治(大阪市大・院・医・都市環境病理)

<維持会員ニュース>

これからの動物実験施設 (株)夏目製作所

◎第74回関西実験動物研究会(平成14年6月14日、大阪大学医学部学友会館「銀杏会館」3階大ホール 共催:大阪大学医学部附属動物実験施設

テーマ:生殖・発生研究の最前線

<講演>

- 1.卵胞選択の制限機構:顆粒層細胞に特異的な新規細胞子受容体について 眞鍋 昇(京都市大・院・農・応用生物学)
- 2.クローンマウスの特徴と応用 若山照彦(理化研・発生・再生科学総合研)

<維持会員ニュース>

- 1.皮膚に関わる自然発症疾患モデル動物 (日本エスエルシー(株))
- 2.有色モルモットの紫外線皮膚色素沈着モデル作成方法について (株)サンプラネット)

◎第75回関西実験動物研究会(平成14年9月6日、大阪大学医学部学友会館「銀杏会館」

共催:大阪大学医学部附属動物実験施設 講演会「組換え動物の利用と規制」

- 1.マウス生体への新しい遺伝子導入法

宮崎純一（阪大・医・動物実験施設）

2. 組換え DNA 実験指針改定に伴う動物を用いる実験の取り扱い 安居院祐隆志（名市大院・居・動物実験施設）

＜維持会員ニュース＞

1. 蒸気滅菌におけるクリーン蒸気の必要性

三浦工業㈱

2. 弊社・技術研修所における教育カリキュラムの紹介 ㈱ケー・エー・シー

◎関西実験動物研究会会報 第 22 号 平成 14 年 9 月会報の目次

第 64 回研究会（平成 11 年 12 月 3 日）

特別講演「疾患モデルからヒトへ予知・予防医学への貢献」 家森幸男（WHO 循環器疾患予防国際共同研究センター）

第 65 回研究会（平成 12 年 3 月 3 日）

テーマ「実験動物の国際化を巡って」

1. Informatics in Laboratory Animal Science International Standards Ken Boschert (Comparative Medicine, Washington)

第 66 回研究会（平成 12 年 6 月 2 日）

テーマ「医薬品開発の前臨床試験における新しい動向と国際戦略を考える」

1. 新しい品の創薬・開発研究における毒性試験の新しい動向 堀井郁夫（日本ロッッシュ㈱研究所）

第 67 回研究会（平成 12 年 9 月 22 日）

テーマ「高次神経機能を動物実験より解明する」

1. プログラム細胞死の人為的操作による神経疾患治療の試み 三浦正幸（理化学研究所脳科学総合研究センター）

第 68 回研究会（平成 12 年 12 月 3 日）

特別講演 2 題

「SL/Kh マウスの Pre-B リンパ腫発生の遺伝機構」 日合 弘（京都大院・医）

「サル（ニホンザル、カニクイザル）ES 細胞株の樹立とこれからの課題」

鳥居隆三（滋賀医大・医・動物実験施設）

会員による研究発表（14 題）

第 69 回研究会（平成 13 年 3 月 3 日）

テーマ「実験動物の微生物モニタリング項目に関する最近の動向」

1. 遺伝子改変動物の授受に伴う微生物感染の増加と実験への影響

八神健一（筑波大・生命科学動物資源センター）

2. 実験動物を取り巻く環境の変化とモニタリングセンターの微生物検査項目の見直し

高倉 彰（財実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター）

3. 実験動物品質の国際標準化 AALAS Health

Monitoring Committee の動向

黒澤 努（大阪大・医・動物実験施設）

第 70 回研究会（平成 13 年 6 月 15 日）

テーマ「バイオメディカルサイエンスにおける遺伝子改変動物等を用いた新規アプローチの紹介」

1. 小脳プルキンエ層及び網膜に遺伝子組換え酵素 Cre を発現する動物の作製

鈴木 昇（三重大・医・動物実験施設）

2. 糖転移酵素遺伝子ノックアウトマウスを用いた糖鎖機能の解析 浅野雅秀（金沢大・医・動物実験施設）

3. 遺伝子から見た哺乳動物精子形成の特徴

野崎正美（大阪大・微生物病研究所）

関西実験動物研究会だより

1)～3) 第 68 回研究会～第 70 回研究会（省略）

4) 第 71 回研究会（平成 13 年 9 月 28 日）

テーマ「マウス・ラットの行動解析と痴呆症の動物モデル」

1. 概日行動の分子生物学

海老原史樹文（名古屋大院・生命農学研究科）

2. 老化促進モデルマウスの加齢依存性の行動変化とその特性 宮本政臣（武田薬品工業株・創薬第一研究所）

3. 痴呆症の動物モデルを考える一脳内サイトカインと β -アミロイド前駆物質の見地から一

山本経之（九州大院・薬学研究科）

東海実験動物研究会

事務局：名古屋大学大学院医学研究科

附属動物実験施設内

TEL:052-744-2466（西村，八木），2468（大野）

FAX:052-744-2482

E-Mail: syagi@med.nagoya-u.ac.jp

または: ohno@med.nagoya-u.ac.jp

◎平成 14 年度東海実験動物研究会 例会&講演会（平成 14 年 3 月 30 日、愛知医科大学本館 2 F）

講演会「動物の心を探る：嗅覚，味覚から」

上野吉一（京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター）

「食品から見た汚染物質」 斉藤 勲（愛知県衛生研究所化学部環境化学科）

「ノックアウトマウスによる軟骨マトリックス機能の研究」 渡辺秀人（愛知医科大分子医科学研究所）

◎平成 14 年度東海実験動物研究会総会&研究発表会（平成 14 年 7 月 13 日、名古屋市立大学大学院医学研究科 教育棟 2 F）

一般講演 8 題

1. 学習行動および情動試験におけるマウス系統の影響 間宮隆吉ら（名城大・薬）

2. ハタネズミ毛周期における毛胞脂腺系の形態

岩田英章ら（名大院・生命農）

3.F344/N ラット繁殖特性の加齢変化

山本貴子ら（長寿研）

4.飼養による生存曲線の修飾から考えられること 田中慎ら（長寿研、愛知医大）

5.ドンリュウ系ラットにおける自然発生性病変の発現様相と寿命に及ぼす食餌制限の効果
伊藤美武ら（愛知医大、オリエンタル酵母）

6.LEC ラット由来繊維芽細胞のX線照射における細胞周期解析について 増田和彦ら（名市院・医）

7.ICGN マウスにおけるネフローシス原因遺伝子座の詳細な遺伝学的解析 趙 エリら（名市大院・医）

8.成長遅延マウス DW/J-grt における Adbbrk2 遺伝子の解析 成 際明ら（名市大院・医）
特別講演 トランスジェニックラットを用いた発がん研究 朝元誠人（名市大院・医）

静岡実験動物研究会

事務局：静岡県立大学薬学部薬剤学教室内

TEL:054-264-5634, FAX:054-264-5635

連絡所：西川明子

TEL&FAX:053-435-3629

◎静岡実験動物研究会報 第28巻2号（2002年1月発行）

巻頭言 森 誠（静岡実験動物研究会会長）

一般講演抄録（第29回研究発表会、平成13年7月6日）（演題名の目）

1.アフリカツメガエル変態時におけるアポトーシスの観察

2.マウスの実験的精巣性テラトーマ形成遺伝子の遺伝学的探索

3.血行性リンパ器官移植による免疫寛容性誘導能における優位性

4.額帯式双眼倒像鏡による眼検査

5.アルカリ性ホスファターゼ（ γ ）活性の上昇と薬物代謝酵素誘導

6.ミニカプセルによるラット経口投与ーカプセルの消化管内の動態と投与可能最大量の検討

7.手指洗浄法の検討

8.マカク属サルの実験に適した麻酔の検討

9.カニクイザル出血時間の測定

10.カニクイザル好中球減少症モデルの作出検討

11.CSK ミニプタの年間（1977-1997）の繁殖成績について

12.ミニプタにおける帝王切開法

13.総合血液学検査装置 ADVIA120 動物用バージョンの基礎的検討および白血球高値例における、AST および ALP の変動

用語解説 アポトーシス、止血機構
会務報告

北陸実験動物研究会

事務局：福井医科大学医学部附属動物実験施設内

TEL：0776-61-8425, FAX：0776-61-8124

E-mail:lara@med.kanazawa-u.ac.jp

URL:http://web.kanazawa-u.ac.jp/~med38/lara/index.html

連絡先：金沢大学医学部附属動物実験施設（橋本憲佳）

TEL: 076-234-4241, FAX: 076-234-4240

E-mail:noriyosi@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp

◎第17回北陸実験動物研究会（平成13年11月17日、福井医科大学機器センター会議室）

講演

1.オキシトシンの分娩・射乳における分泌動態と生理的役割 樋口 隆（福井医科大学第二生理学講座）

2.ラット味蕾の接着分子（カドヘリン）
海藤敏雄（福井県立大学生物資源学部）

◎第6回・第18回北陸実験動物研究会（平成14年6月29日、金沢大学医学部記念館）

一般講演3題

1.受容体型チロシンキナーゼ EphA2 遺伝子による脊索形成機構の解析 成瀬智恵（金沢大院・医・遺伝子改変動物学）

2.アセトアミノフェン肝障害におけるサイトカインの役割ーインターフェロン- γ を中心に 石田裕子ら（金沢大院・医・法社会環境医学、金沢大・がん研）

3.皮膚創傷治癒過程における TNF レセプターの生物学的役割 森 亮一ら（金沢大院・医・法環境医学、金沢大・がん研）

特別講演

遺伝子改変動物を用いた、小胞体分子シャペロン機能の解析 小川 智（金沢大院・医・神経分子標的学）

◎ニュースレター「ほくりく実験動物」

No.17 2001年11月12日発行

第17回北陸実験動物研究会案内

関連会議参加報告（第71回関西実験動物研究会）

講演要旨（第17回研究会）

実験動物関連施設見学会報告 平成13年9月15日見学、見学先：（財）先端医学薬学研究センター所在地：石川県羽咋市飯山町

施設の概要：放射性医薬品を用いた画像解析（PET・SPECT・MRI）に絡むいろいろな研究ができる施設（ニュースレターの報告文より引用）

No.18 2002年6月24日発行

北陸実験動物研究会 第6回総会・第18回研究会案内

講演要旨 (第6回総会・第18回研究会)

一般講演3題 特別講演

信州実験動物研究会

事務局：信州大学医学部附属動物実験施設

TEL:0263-37-2696, FAX:0263-37-2698

連絡先：中島 敦((株)中外医科学研究所)

TEL:0266-53-2448, FAX:0266-53-1949

E-mail:nakajimaats-cms@chugai-pharm.co.jp

◎第59回研究会勉強会(平成14年3月1日)

「遺伝子改変マウスを用いた糖鎖機能の解析」

浅野雅秀(金沢大医学部附属動物実験施設)

「GLPの昨今」

◎第22回信州実験動物研究会総会(平成14年3月1日)

◎第20回研究発表会(平成14年3月1日)

1. ストレプトゾトシン誘発糖尿病モデルマウスにおける薬酒の抗酸化作用

新澤伸一(養命酒製造・中央研)

2. Animexを用いたマウスの睡眠状態の観察

鈴木和重(養命酒製造・中央研)

3. 好酸球増多症を自然発症するラット(MES)

7. アレルギー性抗体産生能の検討

松下宗史(大鵬薬品工業・安全研)

4. イヌを用いた安全性試験における飼料切り替えの影響

加藤隆之(富士バイオメディックス)

5. ミニプタを用いた腸骨生検法の紹介

片桐公一、堤 秀樹(中外医科学研究所)

◎第23回交歓スポーツ大会(平成14年6月15日)
・ボーリング大会

九州実験動物研究会

事務局：九州大学大学院医学研究院

附属動物実験施設

TEL:092-642-6147, FAX:092-642-6165

連絡先：毛利資郎(九州大学大学院医学研究院)

附属動物実験施設)

E-mail:shirou@qua.med.kyushu-u.ac.jp

URL:http://interserver.miyazaki-med.ac.jp/

~AnimalCenter/11.html

◎第19回九州実験動物研究会総会、第21回日本

実験動物技術者協会九州支部研究発表会、第

24回日本実験動物環境研究会合同開催(平成

13年11月10日、11日、長崎大学・医学部)

11月10日 一般演題(演題名のみ)

1. チンパンジー精子の凍結保存

2. 輸送したラット凍結精子を用いた人工授精成績について

3. 低温輸送した精巣上体尾部を用いた遺伝子改変マウスの体外受精成績

4. 5年間凍結保存したマウス精子による産子の

作出

5. 透明帯切開卵子とC57BL/6J由来低受精能遺伝子改変マウス-凍結融解精子間での体外受精成績について-

6. 長崎県福江島にて捕獲した野生ハツカネズミ精子の凍結保存

7. 凍結受精卵を用いたトランスジェニックマウス作製の現状について

8. 遺伝子改変マウス胚に及ぼす凍結保存の影響について

9. 凍結マウス胚における再凍結・融解の影響

10. 凍結8細胞期胚を用いたキメラマウスの作製

11. 融解直後のES細胞と8細胞期胚の共培養によるキメラマウスの作製

12. 体外受精に用いる雌マウスの週齢に関する研究

13. 各種マウス系統における体外受精・胚の培養および移植成績の検討

14. 生殖古学技術習得における個人差について

15. マウス肝炎ウイルスによるマウスの実験的肝炎におけるインターフェロン- γ の役割とマウス系統差

16. つくば高血圧マウスへのACE阻害薬キナプリル投与時のANP動態

シンポジウム(両研究会共催)

話題「近年多発しているMHV感染症—その完全制圧を目指して」

1. 始めに 佐藤 浩(長崎大・医)

2. 感染事故

1) 大学例 渡辺洋二(長崎大・医)

2) 研究所例 朱宮正剛(都老人研)

3. MHV感染が及ぼす研究障害例

マラリア原虫感染実験例

川畑優子(長崎大・医)

4. 感染予防対策

1) ソフト面

(1) ダスト使用法によるリアルタイム検査法 大沢一貴(長崎大・医)

(2) 感染研における感染実験例

山田靖子(国立感染症研)

2) ハード面

(1) 新型の給排気ラックにおけるウィルス伝播実験 柳原 茂(東熱工株)

(2) 強制換気マイクロアイソレーションシステムによる感染防御 吉田一也(ダイダ)

11月11日 一般演題(演題名のみ)

1. 床ナルクにおける環境ISO取得について

2. 4色の床敷材によるモルモットの居住嗜好性

3. マウスの成長に影響を及ぼさない飼育室温度制御の検討

4. キュービクル型飼育装置の開発

5. マイクロアイソレーターシステム(VIC)の簡易改良について
 6. ワークベンチの開発
 7. AQUA-CLEAN 空調システムについて
 8. 空調機停止による室内の温度、粉塵、空中細菌、アンモニアの変動について
 9. レーザー温度測定機による施設外壁温度測定
 10. 飼料中蛋白質量と飼料切替による雄ラットの体重に及ぼす影響
 11. ラットにおけるエコ炭投与による血液一般ならびに血液生化学値に及ぼす影響について
 12. ラットの授乳期間中における血圧と心拍数の日内変動
 13. 病院等施設清掃における特殊スポンジモップ(ウィングモップ)の有用性
 14. エーテル麻酔に代わる吸入麻酔法の検討
 15. ラット頸部髄腔内投与に関する実験 4
ーチオペンタール麻酔増強作用による投与法の評価ー
 16. DBA/2 雌マウスの腎尿細管における細胞質内顆粒の検出および刷子縁の染色性ー各種固定法と染色法の比較ー
 17. Phytoestrogen を含まない飼料が幼若雌ラットの陰開口日齢に及ぼす影響
 18. *Helicobacter hepaticus* の分離培養方法に関する研究
 19. MGS/Sea スナネズミにおける *Helicobacter pylori* 抗体価測定について
- 11月11日
一般演題(演題名のみ)
20. 常駐型マウス記憶学習能測定系の開発
 21. マウスの収容密度の影響ーC57BL/6 マウスの摂餌、摂水量、体重及び繁殖成績ー
 22. ウサギ用大型ケージを使用したウサギの繁殖経験
 23. ウサギ用リサイクル輸送ケージの試作
 24. 専用飼育室のないミニブタの飼育についての1例
 25. 無拘束動物の作製及び術後管理
 26. 血液化学的検査における薬物干渉時の対応ービリルビン測定値への干渉事例ー
 27. 動物実験施設の廊下清掃・消毒に関する検討
 28. 滅菌と滅菌保証
 29. 実験情報の一元管理とペーパレス化をめざして
 30. 停電事故に際して行った対策について
 31. 中国広東省医学実験動物センターについて
- 特別講演Ⅰ
「成人細胞 T 白血病ウィルス(HTLV-1)感染症のマウスモデル」 大杉剛生(熊大・動物資源開発研究センター)
- 特別講演Ⅱ
「世界のムカシウサギを追って」
鈴木 博(長崎大・熱帯医学研究所附属熱帯病資料情報センター)
- 特別講演(市民公開講座)
野生生物学的視野からみた21世紀のポストゲノム研究ー野生生物から何が見えるか?ー
遠藤秀紀(国立科学博物館動物研究部)

